

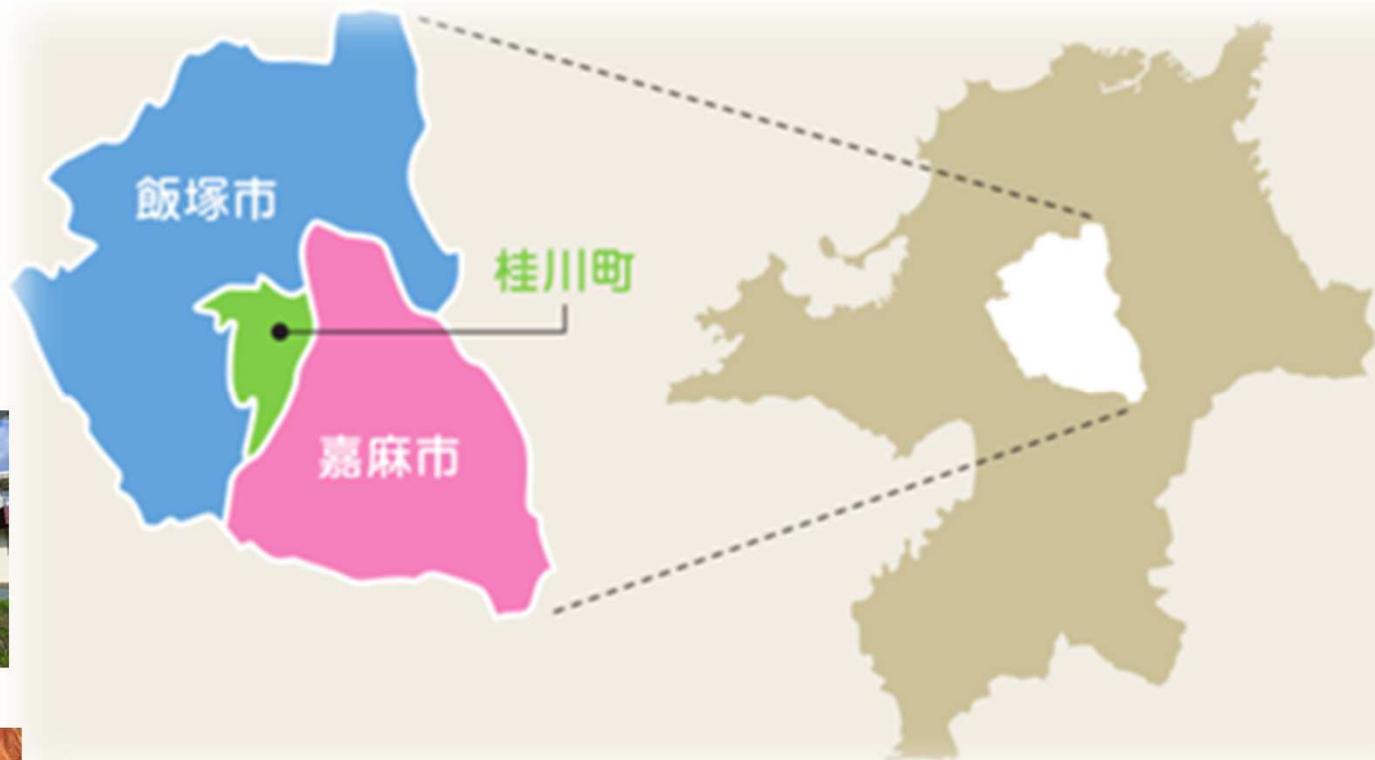
(参考) 嘉飯桂地域振興 ビジョンデータ集

令和8年3月

嘉飯桂地域

嘉飯桂地域

〔 飯塚市、嘉麻市、桂川町 〕



(参考) データ集

1 人口の減少

① 人口の推移

嘉飯桂地域の総人口は、令和2年国勢調査で174,715人となり、平成12年の199,839人から20年間で25,124人減少（▲12.6%）しており、3市町とも人口減少が続いています。年齢別構成では、年少人口（0～14歳）は28,005人から21,726人と6,279人減少（▲22.4%）、生産年齢人口（15～64歳）は128,732人から92,627人と36,105人減少（▲28.0%）した一方、老年人口（65歳以上）は42,933人から58,590人と15,657人が増加（+36.5%）しています。

さらに、老年人口のうち、後期高齢者（75歳以上）は19,127人から28,968人と約1.5倍に増加（+51.5%）しており、総人口に占める割合でも9.6%から16.6%へと約2倍に増加しています。

○2000年と2020年の人口比較

(県全体)

	H12年(2000年)		R2年(2020年)		2000年→2020年 増減率(%)
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	
年少人口	742,740	14.8%	662,179	12.9%	▲ 10.8%
生産年齢人口	3,393,080	67.6%	2,911,353	56.7%	▲ 14.2%
老年人口	870,290	17.4%	1,395,142	27.2%	+ 60.3%
前期高齢者	506,078	10.1%	695,425	13.5%	+ 37.4%
後期高齢者	364,212	7.3%	699,717	13.6%	+ 92.1%
総人口	5,015,699	100.0%	5,135,214	100.0%	+ 2.4%

・老年人口の割合

17.4% (2000年) → 27.2% (2020年) +9.8ポイント

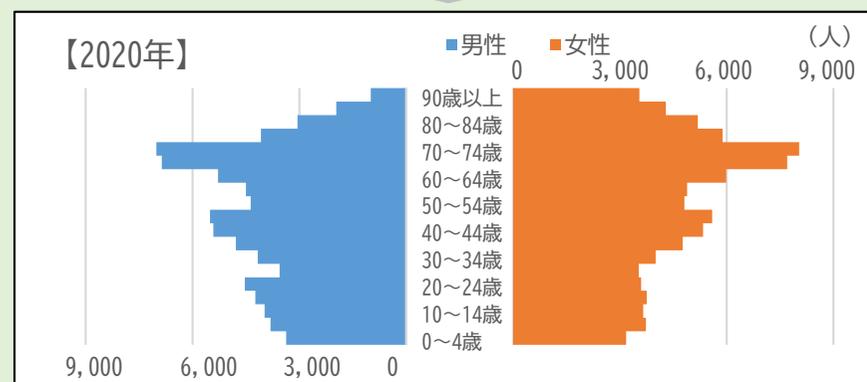
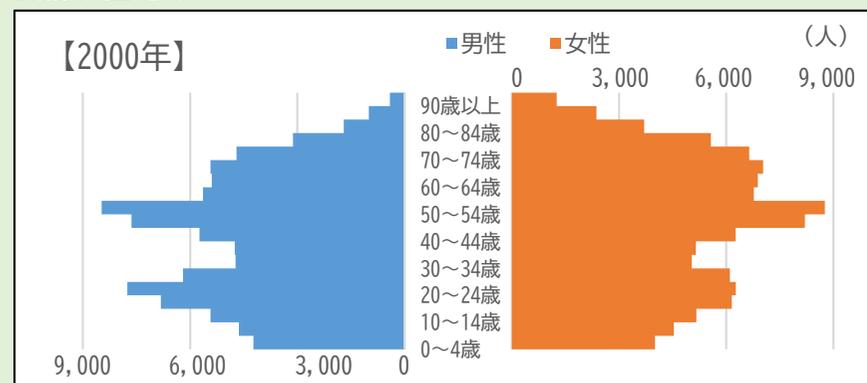
(嘉飯桂地域)

	H12年(2000年)		R2年(2020年)		2000年→2020年 増減率(%)
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	
年少人口	28,005	14.0%	21,726	12.4%	▲ 22.4%
生産年齢人口	128,732	64.4%	92,627	53.0%	▲ 28.0%
老年人口	42,933	21.5%	58,590	33.5%	+ 36.5%
前期高齢者	23,806	11.9%	29,622	17.0%	+ 24.4%
後期高齢者	19,127	9.6%	28,968	16.6%	+ 51.5%
総人口	199,839	100.0%	174,715	100.0%	▲ 12.6%

・老年人口の割合

21.5% (2000年) → 33.5% (2020年) +12.0ポイント 出典：国勢調査

○嘉飯桂地域の人口ピラミッド



出典：国勢調査

※年齢不詳があるため、合計が合わない箇所があります

※年齢不詳を除く

② 人口動態（自然増減・社会増減）

嘉飯桂地域の人口は、令和2年から6年の5年間で8,236人が減少しています。いずれの年も自然減の割合が高く、特に令和5年・6年は社会増を自然減が上回っています。

※各年の期間は、前年10月1日から当年9月30日まで

（例）R6年：R5年10月1日～R6年9月30日



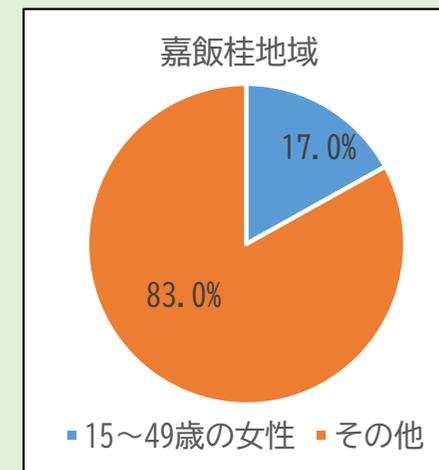
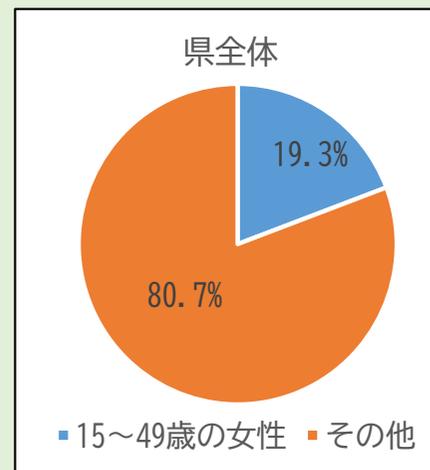
	R2年 (2020年)		R3年 (2021年)		R4年 (2022年)	
	増減数 (人)	比率 (%)	増減数 (人)	比率 (%)	増減数 (人)	比率 (%)
自然増減	▲ 1,196	81.4%	▲ 1,403	82.9%	▲ 1,448	89.4%
社会増減	▲ 273	18.6%	▲ 289	17.1%	▲ 172	10.6%
計	▲ 1,469	100.0%	▲ 1,692	100.0%	▲ 1,620	100.0%

	R5年 (2023年)		R6年 (2024年)		計 (R2年～R6年)	
	増減数 (人)	比率 (%)	増減数 (人)	比率 (%)	増減数 (人)	比率 (%)
自然増減	▲ 1,698	102.5%	▲ 1,831	101.8%	▲ 7,576	92.0%
社会増減	41	▲ 2.5%	33	▲ 1.8%	▲ 660	8.0%
計	▲ 1,657	100.0%	▲ 1,798	100.0%	▲ 8,236	100.0%

出典：福岡県の人口と世帯年報

③ 15～49歳の女性人口の割合

令和6年10月1日現在における、総人口に対する15～49歳の女性の割合は、県全体の19.3%に対し、嘉飯桂地域は17.0%と低く、少子化が県全体より加速する懸念があります。



R6年 (2024年) 10月1日現在	総人口 (人)	15～49歳の女性 (人)	15～49歳の女性割合 (%)
県全体	5,097,710	981,380	19.3%
嘉飯桂地域	167,948	28,469	17.0%

出典：福岡県の人口と世帯年報

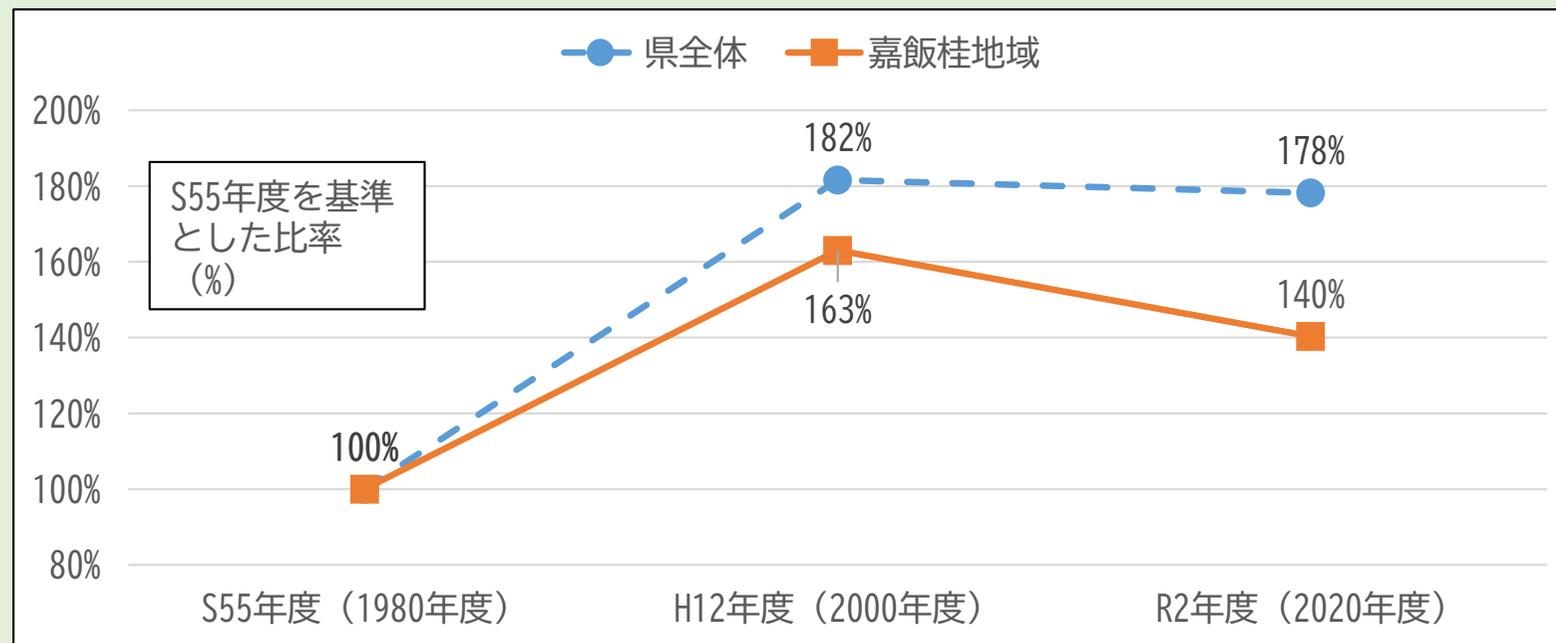
2 経済活動の縮小

④ 市町村民所得

過去40年間でみると、県全体は78.2%の増に対し、嘉飯桂地域は40.3%と増加率は大きく下回っています。
また、過去20年間でみても、県全体が▲1.0%の減に対し、嘉飯桂地域は▲13.7%と、減少率は県全体と比べ約14倍となっています。

(単位 金額:億円)

	S55年度 (1980年度)	H12年度 (2000年度)	R2年度 (2020年度)	増減率	
				対1980年度比	対2000年度比
県全体	75,735	137,532	136,224	79.9%	▲1.0%
嘉飯桂地域	2,854	4,640	4,005	40.3%	▲13.7%



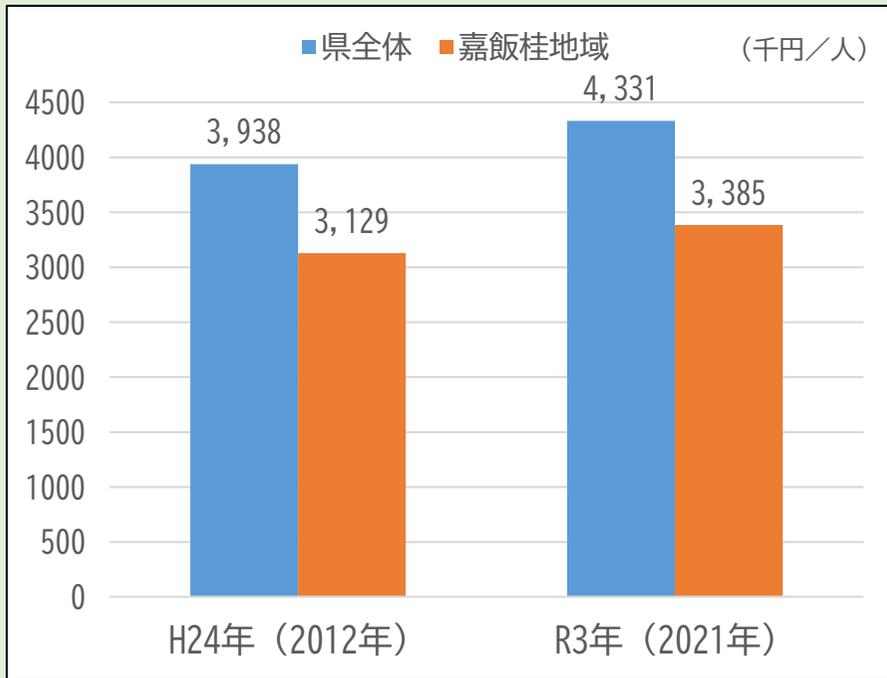
出典:福岡県「市町村民経済計算(平成23~令和4年度)」、「市町村民経済計算(平成8~12年度)(平成12年基準)」、
「市町村民経済計算(昭和55~平成元年度)(平成2年基準)」

⑤ 労働生産性

労働生産性は県全体に比べ低く、増加率も県全体を下回っています。

(単位 千円/人)

	H24年 (2012年)	R3年 (2021年)	増減率
			対2012年比
県全体	3,938	4,331	9.98%
嘉飯桂地域	3,129	3,385	8.18%



出典：総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工

⑥ 農業

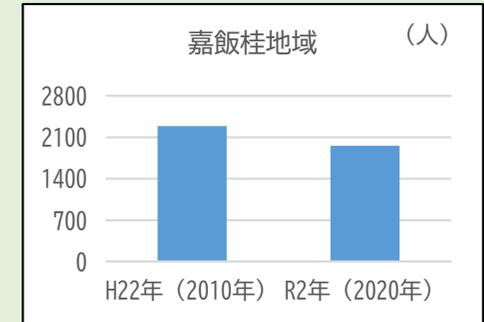
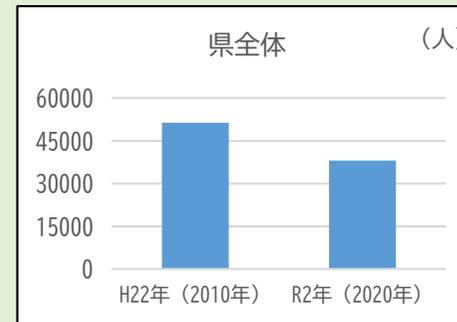
過去10年間における基幹的農業従事者数の減少率は1.5割減少しています。

○基幹的農業従事者数

(単位 人)

	H22年 (2010年)	R2年 (2020年)	増減率
			対2010年比
県全体	51,332	38,077	▲25.8%
嘉飯桂地域	2,292	1,960	▲14.5%

出典：農林水産省「農林業センサス」



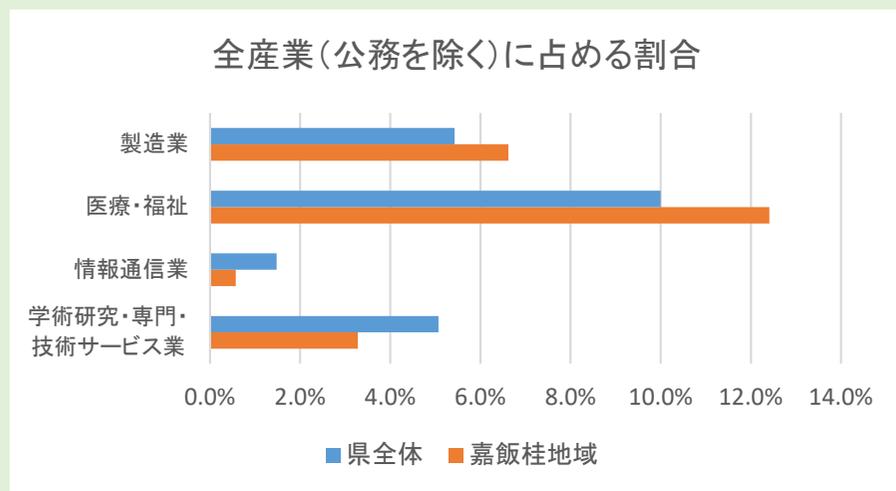
出典：農林水産省「農林業センサス」

⑦ 産業構成

嘉飯桂地域における製造業や医療・福祉の事業所数は多いが、情報通信や学術研究など、先端分野の事業所数は少ない状況です。

○令和3年産業大分類別事業所数

産業大分類	県全体		嘉飯桂地域	
	事業所数	全産業(公務を除く)に占める割合	事業所数	全産業(公務を除く)に占める割合
製造業	11,342	5.4%	452	6.6%
医療・福祉	21,385	10.2%	847	12.4%
情報通信業	3,090	1.5%	39	0.6%
学術研究・専門・技術サービス業	10,600	5.1%	224	3.3%
全産業(公務を除く)	209,008		6,826	



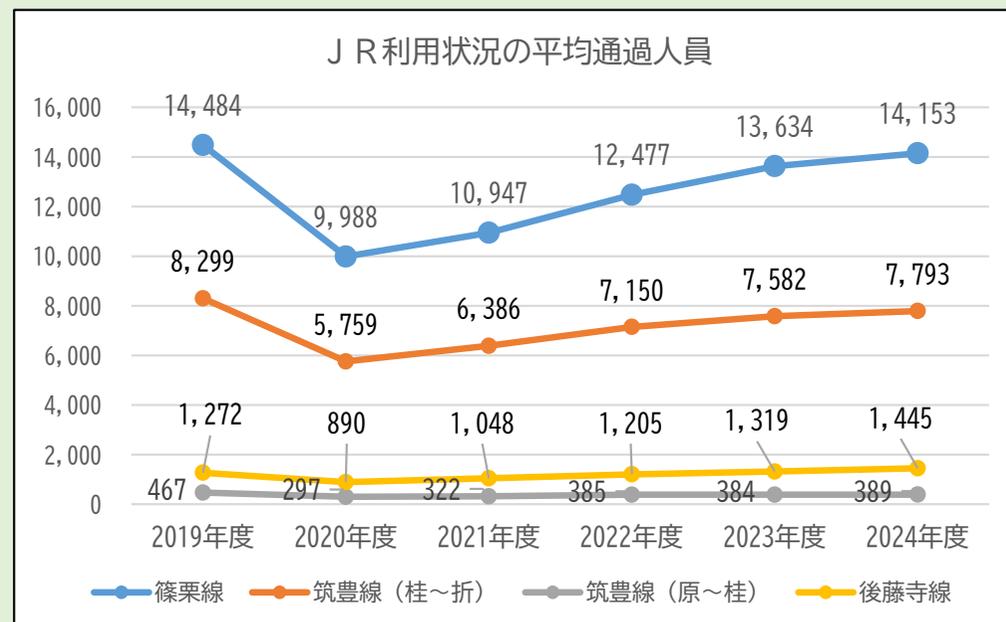
出典：令和3年経済センサス活動調査（速報集計）

⑧ 地域公共交通

鉄道利用者は、後藤寺線を除いて、人口減少やコロナウイルス感染症の影響により減少したまま回復していない状況です。

○JR利用状況

線名	区間	平均通過人員(人/日)						2019年度と2024年度の比較増減率
		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
篠栗線	篠栗～桂川	14,484	9,988	10,947	12,477	13,634	14,153	▲2.3%
筑豊本線	桂川～折尾	8,299	5,759	6,386	7,150	7,582	7,793	▲6.1%
	原田～桂川	467	297	322	385	384	389	▲16.7%
後藤寺線	新飯塚～田川後藤寺	1,272	890	1,048	1,205	1,319	1,445	13.6%



出典：JR線区別ご利用状況